



新宿区

『新宿力』で創造する
やすらぎとにぎわいのまち新宿

令和3年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
令和3年2月9日(火)

事業名	東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた取組み	予算(案)の概要	137 ページ
予算額	令和3年度予算額 99,735 千円 (前年度予算額 128,904 千円)	(継続)	
取材先	東京オリンピック・パラリンピック開催等担当部 東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長 浅野 (電話 03-5273-4220)		

東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた取組み

■ 体験イベント等の実施

1 コミュニティライブサイト

東京2020大会期間中、皆と一緒に観戦や応援を楽しめるコミュニティライブサイトを開催します。

- ・ 競技会場からのライブ中継の放映や競技解説
 - ・ 子どもたちや様々な団体によるステージパフォーマンスなど
- ※参加者同士が大会への思いを共有し、大会の感動が生涯の思い出として残るようなイベントを目指します。



コミュニティライブサイト

【オリンピック コミュニティライブサイト】

開催日 2021年7月21日(水)~8月8日(日)

会場 新宿住友ビル三角広場

【パラリンピック コミュニティライブサイト】

開催日 2021年8月24日(火)~9月5日(日)

会場 工学院大学

2 メモリアルコレクション展

東京2020大会開催期間にあわせて、夏季オリンピックの聖火リレーで使われたトーチ等のコレクションを展示します。これまでのオリンピックの歴史の重みを感じられる展示です。



平成30年度に実施したトーチ展

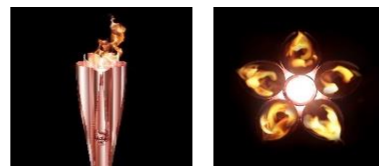
開催日 2021年7月21日(水)~8月8日(日)

会場 新宿住友ビル三角広場

3 聖火リレーイベント

オリンピック聖火は2021年3月25日に福島県からスタートし、日本全国を巡ります。新宿区では、聖火リレー最終日の出発式を開催します。

また、パラリンピック聖火リレーでは、区内で採火式や聖火ビジット(区立障害者福祉施設等での聖火の展示)も実施します。



東京2020聖火リレートーチ

【オリンピック聖火リレー出発式】

開催日 2021年7月23日(金)

会場 新宿住友ビル三角広場

【パラリンピック聖火リレー採火式・聖火ビジット】

開催日 2021年8月20日(金)

会場 コースなど詳細を受けて決定



みんなの歓声
みんなが輝く

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催直前

新宿区は、国立競技場が位置する自治体として、東京2020大会が区民の皆さんの記憶に残るよう、大会開催を盛り上げます。また、大会終了後のレガシー継承のための取組みを行います。

■ 子どもたちに大会との関わりを創出

1 新宿区オリジナルデザインのクールネックタオル制作

東京2020大会の競技を観戦する子どもたちの暑さ対策として、新宿観光振興協会の協力を得て野老朝雄氏の「新宿オリジナルデザイン」が装飾されたクールネックタオルを制作します。「新宿オリジナルデザイン」を一斉に身に付けることにより、一体感を創出します。

配付対象：区立の小学校、中学校、特別支援学校、幼稚園等

2 パラリンピック競技を通じた伊那市との交流

令和元年度は、新宿区の子どもたちが友好提携都市である伊那市を訪ね、ポッチャの競技体験を通じて交流しました。

令和3年度は、伊那市の子どもたちに大会期間中にパラリンピック競技を観戦してもらうことで、パラリンピック競技への理解を深めます。

■ ボランティア活動の機会の創出

新宿区独自ボランティア「新宿2020サポーター」の取組み

東京2020大会開催を好機と捉え、ボランティアの活動機会を創出することにより区民のボランティアマインドの醸成を図るとともに、大会後を見据えた区内におけるボランティア活動の発展・定着を目指して運営しています。

【新宿2020サポーター】

登録者：404人(2021年1月時点、2019年5月登録受付開始)

ボランティア活動参加人数：延べ137人

対象：次のすべてにあてはまる方

①区内在住・在勤・在学または区内で活動する団体に所属している

②中学生以上 ③日本語による簡単な会話ができる

東京2020大会期間中は、聖火リレーやコミュニティライブサイトイベントなど、様々なボランティア活動の機会が見込まれています。サポーターの更なるボランティアマインドの醸成を進めるとともに、大会終了後はその経験を活かし、活動の場を地域社会へと移行できるよう研修を通じて支援します。

新宿2020サポーター
活動事例



ラグビーPVのブース担当



250日前イベントの総合受付